

要 旨

主要立法（翻訳・解説）

アメリカの統一家族法仲裁法

連邦制を採用しているアメリカにおいては、19世紀末から各州法の統一を図るために、統一州法委員全国会議（NCCUSL）により統一州法の作成が進められている。2016年7月に、家族法に関わる紛争に対して、仲裁による解決を図る手続を規定する「統一家族法仲裁法（UFLAA）」が作成された。仲裁は、当事者の合意に基づき、紛争の解決を中立の第三者に委ねる一種の私的裁判である。アメリカにおいては各州の仲裁法に基づき家族法に関わる紛争を仲裁に付す事例が増加したが、子の監護の問題や家庭内暴力など家族特有の問題が既存の仲裁法では対処できないとして、家族法上考慮すべき点を規定するUFLAAが作成された。本稿では、UFLAAの作成の経緯及びその概要を紹介し、併せて同法を訳出する。

カナダ安全情報共有法—情報活動とプライバシーをめぐる問題—

カナダでは、2015年6月、「カナダ安全情報共有法」が成立した（テロ対策に関するパッケージ的な法律である「2015年反テロリズム法」の一部）。同法の目的は、政府機関の間でテロ関連情報の共有を促進することである。同法については、情報共有の範囲や情報共有に対する外部機関の監視統制などが論点となっており、法成立後も同法をめぐる議論は続いている。本稿では、同法の成立経緯や法律の問題点をめぐる専門家の見解などを紹介し、併せて同法を訳出する。

欧州国境沿岸警備隊規則—EUの域外国境管理制度をめぐる動向—

EUは近年、域内と非加盟国との間の国境（域外国境）の管理強化に取り組んでいる。この目的のため2016年9月、欧州国境沿岸警備機関と各加盟国の国境管理の所掌官庁とで構成される、欧州国境沿岸警備隊を創設する規則が制定された。同規則では、この枠組みの下で実施される域外国境管理活動や、警備機関の組織・任務等を規定している。域外国境管理分野における加盟国間の協力の背景、経緯及び問題点を紹介した上で、新たに警備機関が設置された経緯と、警備機関の概要を紹介し、同規則を抄訳する。

韓国における不正腐敗防止対策

—「不正請託及び金品等の收受の禁止に関する法律」を中心に—

韓国では、腐敗の根絶が積年の課題となっている。これまでの法整備では効果が不十分であったことから、2015年3月に「不正請託及び金品等の收受の禁止に関する法律」が成立した。私立学校の教職員と言論機関の役職員も「公職者等」に含めて、職務関連性や対価性がない場合であっても金品等の收受を禁止するという厳格さに対し、一般的な行動自由権を侵害しているのではないかとして違憲審判申請があった。結果として、2016年7月に憲法裁判所から合憲判断がなされ、同年9月から施行された。本稿では、同法の制定の背景とともに、制定経緯及びその概要を紹介し、同法の全文を訳出する。

中国の映画産業促進法

世界有数の映画大国となった中国では、映画産業の一層の振興を図るため、政府による取組が強化されている。2016年11月7日、映画産業の管理監督と市場秩序維持、映画製作や作品内容に対する法的規制等について定める映画産業促進法（全60か条）が制定され、2017年3月1日から施行された。最近の中国における映画関連の主な政策方針と法整備の概況、映画産業促進法の概要を紹介し、同法の全文を訳出する。